

近畿大学工学部 教職課程年報

2021

Vol. 8

■ 論文	
有馬 比呂志, 道上 達広, 吉川 真: 宇宙へのキャリアを目指した影響要因 —「はやぶさ」「はやぶさ2」のスタッフへの調査から—	3
■ 研究報告	
有馬 比呂志: 新型コロナウイルス感染症蔓延時の「教育実習」と「介護等体験」 の対応	15
小川 智弘, 佐々木 良勝: 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う教職科目の対応の記録 ...	20
■ 体験記	
合格体験記 月森 貴裕 ほか	27
教育実習報告 岡 雅/下森 萌/清藤 亮太	33
■ 資料	
1. 令和2年度教職課程行事報告	39
2. 令和2年度教職課程受講者数	40
3. 令和2年度教育実習・介護等体験参加者数	41
4. 令和2年度免許取得者数・教員就職者数	42
■ お知らせ	
教職ラボ同好会(近畿大学工学部教職サークル)	45

論文

宇宙へのキャリアを目指した影響要因

—「はやぶさ」「はやぶさ2」のスタッフへの調査から—

有馬 比呂志^{†1}, 道上 達広^{†1}, 吉川 真^{†2}

Factors Affecting on Career for Space Science
Consideration on The Questionnaire for “HAYABUSA” and “HAYABUSA 2” staff

Hiroshi ARIMA^{†1}, Tatsuhiko MICHIKAMI^{†1}, Makoto YOSHIKAWA^{†2}

はじめに

計画された偶発理論 キャリア教育の基礎となる理論として、近年、社会学的理論が注目を集めている。その一つに「計画された偶発理論 (Planned Happenstance Theory)」(以下、PHT とする。)がある。この理論では、「個人のキャリアの 8 割は予期せぬ偶発的な事象によって決定される」(Krumboltz & Levin, 2004)と考えられている。すなわち、自らがあらかじめ意図しない出来事や出会いに、最善の力を尽くすことの継続によってキャリアが選択・形成されていくという考えである (Krumboltz, 2009)。この理論は、個人の努力を否定するものではない。出来事や人との出会いの際に、それらをどのように捉え、積極的にどのようにキャリア発達に生かしていくのが鍵となると考えられている。

Krumboltz (2009) によれば、予期せぬ偶発的事象を「計画された偶然」に変えるためには、①好奇心、②持続性、③楽観性、④柔軟性、⑤リスク・テイキングの 5 つの力が必要である。①好奇心は、新たな学びの機会を探索することである。②持続性は失敗に屈することなく努力をすることである。③楽観性は、新たな機会に接し「必ず実現する」「できる」等の捉え方をすることである。④柔軟性は、信念、態度、行動を変えること。⑤リスク・テイキングは、結果が不確実であっても行動をすることである、と説明されている。

PHT の命題の中には、「キャリアを一つに決定することを目標としないこと」(命題 1 より抜粋)、「個人の特性と職業の特徴のマッチングのために用いるものではない」(命題 2 より抜粋)という文言がある。このことから、PHT が、従来のキャリア理論、例えば、パーソンズ理論 (Persons, 1909) のように、個人の適性や能力と既成の職業で必要とされるそれ

^{†1} 近畿大学工学部教育推進センター

Center for the Advancement of Higher Education,
Faculty of Engineering, Kindai University

^{†2}JAXA 宇宙科学研究所

Institute of Space and Astronautical Science (ISAS), Japan
Aerospace Exploration Agency (JAXA)

らとの適合性を見定め、マッチングをさせることを主たる目標とはしていないことが分かる。「向いている」であるとか、「得意である」から特定の職業を選ぶのではなく、むしろ、ある出来事の遭遇を契機に職業が誘発され、結果としてキャリアの決定がなされると考えられている。

キャリア・アンカー理論 キャリア教育を支えるキャリア理論として、PHTの対局にあるとされるキャリア・アンカー理論 (Schein, 1978) がある。この理論では、船のアンカーのように重要な価値や欲求が、キャリアの選択に大きく影響をしていると考える。「アンカー」には次の8つが示されている。①専門・職能、②経営管理、③自律・独力、④起業家的創造性、⑤安定、⑥奉仕・社会貢献、⑦挑戦、⑧全体調和・生活様式、である。

それぞれ8つのアンカーは、重要な職業選択等のキャリア形成に重要であるとの理解は容易であろう。たとえば、個人の専門的な力や社会に貢献したいという欲求によって、それを可能とする職業が選別されていくということである。そこで、子どもにおいては自らの能力や価値を見つめる、いわゆる「自分探し」をすることがキャリア教育の根幹をなす行動として捉えられてきた。

しかしながら、ここで欲求や価値に重きをおくことには限界があるであろう。なぜなら、将来にわたり社会や仕事内容の変化は起こりうる。すなわち、選択した職が当初のものから異質な別の種類のものへと乖離してしまう可能性が少なくないということである。したがって、それらの変化と自らの適性との適合性は、たとえ現時点で良好と判断されたとしても、恒久的に持続はしない状況が予想されるだろう。ICT (Information and Communication Technology) や AI (Artificial Intelligence) の発展によるビジネスモデルの変容や、世界的気象変動に対応するエネルギー確保など急務とされる課題が林立する中、社会が変革しているとしている。近年、PHTに注目が集まっている理由の一つがこのような社会変革にあるとも考えられる。これからの社会においては、従来、「遠い存在」とされていた「宇宙」でさえも立派な仕事の間となる可能性は低くはない。町工場でロケット開発がされたり、流れ星を人工的に作り出す企業が出現したりしていることはその証左であるであろう。そこで本研究では、キャリアとして宇宙を取り上げることとした。

内発的動機づけ 偶然の出会い、私たちの日常にも当然存在する。例えば、趣味や娯楽の世界にもあるであろう。人との出会いをきっかけとしてその世界に入るといった体験は少なくない。もとより、趣味や娯楽は、内発的動機づけによるものであるため、関連する行動の態様はより積極的で能動的になると考えられる。

内発的動機づけとは、行動そのものが報酬となるよう動機づけられていて、外部からの金銭や物品のような報酬 (外的報酬) を受けて行動が触発される外発的動機づけと対を為すものである。すなわち、趣味などでは報酬のために行動をするのではなく、興味や関心を持って自らが望んで実行をしているものである。したがって、ゴルフやテニスやピアノ演奏などの趣味に金銭的報酬が伴えば、それらは職業となりもはや趣味とは呼べないものであるだ

ろう。多くの人は報酬以外の様々な理由によって、動機づけられ行動を始めるのではないだろうか。

二要因モデル ここでキャリア教育における動機づけについて、学習における動機づけ理論である二要因モデル（市川，2010）を援用して考えてみたい。このモデルでは、まず二つの次元を考える。一つは学習の「功利性」でありこれを横軸に置く。二つは学習する「内容の重要性」で縦軸に置く。前者のレベルを3段階、後者を2段階に設定することで、合計6つの志向が想定されている。

6つの志向とは、①学習自体が楽しい充実志向、②治療を鍛えるため学習する訓練志向、③学習を仕事や生活に生かす实用志向、④他者につられて行う関係志向、⑤自らのプライドや競争心で学ぼうとする自尊志向、そして⑥報酬を得る手段として学習する報酬志向である（Fig.1）。

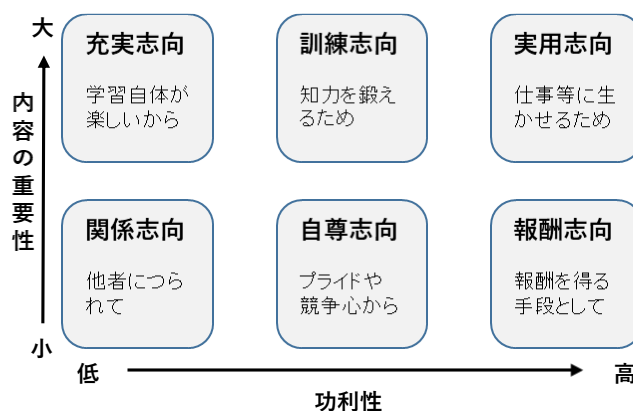


Fig.1 学習動機の一要素モデル 市川（2010）を一部改変

このモデルで明らかにされた重要な指摘は、⑥報酬志向や③实用志向などのような何らかの報酬によらない①充実志向や④関係志向といった学習の重要性が小さく功利性が低いとみなされるものであっても、学習の動機としては十分な機能を有するという点である。したがって、キャリアへの動機においても、実用や報酬を志向するばかりではないと考えられるであろう。すなわち、一見それらとは関係性が少ないと思われる事象がキャリア形成への動機になると推察される。

このように考えていくと、趣味や娯楽を含む様々な人生での出会いがキャリアを形成し始める際の大きな影響要因になっていると考えられる。

そこで、本研究では従来キャリア教育で取り扱われることが殆どなかった「宇宙」へのキャリアに着目しその影響因を検討する。

キャリアを発達的に考えれば、児童期には興味要因が職業選択の中心になり、また青年期においても興味の要因は価値要因などと並び重視される（武衛，1969）ことが、古くから指

摘されてきている。したがって、キャリア発達の初期や中期においてはキャリアへの興味を持つことが重要である。本研究は、宇宙へ興味を持つことを取り上げ、そのきっかけとなった様々な事象について検討する。

目 的

本研究は、上述のように社会の大きな変革の中でも、今後さらなる発展が期待される分野である宇宙に着目をした。そこで、宇宙への興味を持った影響因を、JAXAの「はやぶさ」、
「はやぶさ2」の関係者を対象として明らかにすることを目的とした。

方 法

調査日時 2020年6月1日から6月9日までの9日間で実施した。

調査協力者 JAXA「はやぶさ」「はやぶさ2」の関係者46名。

調査方法 インターネットを用いたアンケート形式。

手続き グーグルのスプレッドシートをオンライン上に掲載し、URLを知っている関係者であれば、だれでも書き込めるような形にした。項目は、各自が随時追加し、影響を受けた項目に○を記入してもらった。○については、各自3個程度記入するように依頼した。各項目に対する名前の記入は任意とした。記入の際、年代によって影響を受けたものが異なることが予想されたため、自身が何歳代かも記入してもらった。また、項目に関して自由記述欄を設け、任意で記入してもらった。

結 果

アンケートを集計した結果、30歳代から60歳代までの合計46名から回答を得た。なお、年代別の累計の投票数は、30歳代15%、40歳代34%、50歳代44%、60歳代7%であり合計の累計197票であった。「はやぶさ」「はやぶさ2」の関係者は、40歳代、50歳代がボリュームゾーンであることから、累計で154票と全体の約80%を占めていた。

影響因の項目 投票については、各自3個程度の項目をお願いしたが、実際にはそれ以上の○をつけた人もいた関係で、平均4個程度の投票になっていた。

3票以上入った、項目はFig.2に示す。なお、一人で15項目に○をつけた人がいたため、2票以下は今回載せていない。Fig.2を見ると、上位6項目は、40歳代、50歳代から大きな支持を受けているのが分かる。項目の上位から、影響を受けたアニメは「宇宙戦艦ヤマト」(19票)、「銀河鉄道999」(14票)、「機動戦士ガンダム」(14票)であり、本は「コスモス(カールセーガン)」(11票)、事柄は「惑星探査機ボイジャー」(14票)、「アポロ計画」(13票)

であった（以上、投票数で10票以上）。

30歳代では、初号機の小惑星探査機「はやぶさ」に影響されて、この道に入った人が多いことが分かる。付録の自由記述にも、具体的にそのことが記述されている。

一方、世代には関係なく支持されているのは、科学雑誌ニュートンである。5票以上入った項目のコメント（任意）については、付録に掲載した。

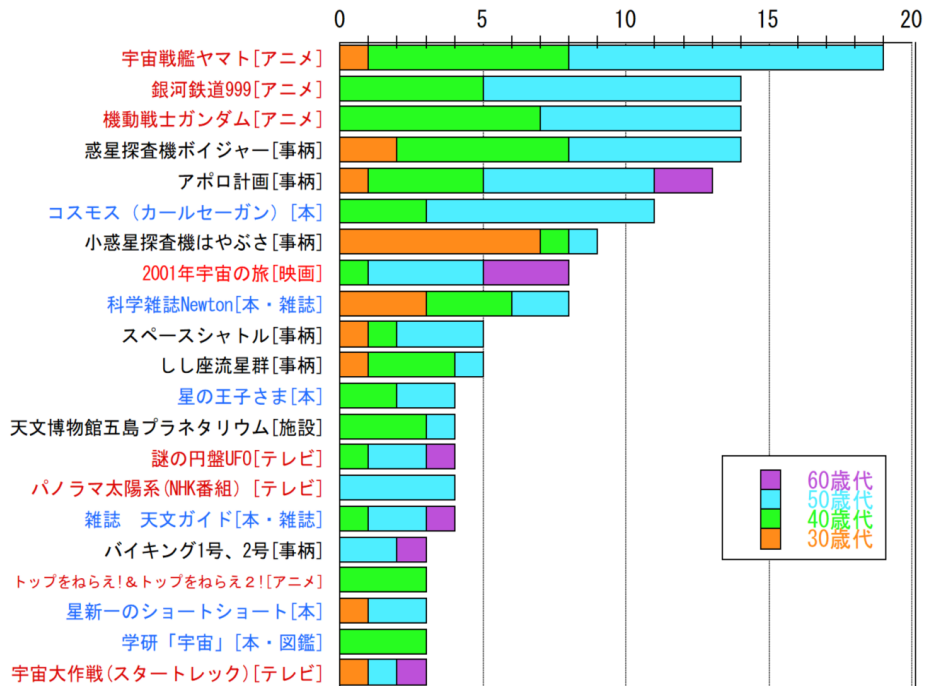


Fig.2 影響因となった項目と投票数

自由記述 自由記述の中から、事象や事物の遭遇した時期（例えば、「小学生の頃」など）などが明瞭に書かれている単語を抽出し、「興味を持った時期と項目」について表したのがTable 1である。幼稚園，小学校で挙げられた項目では，アニメ・漫画に加え，宇宙関連科学雑誌，図鑑やプラネタリウムが多く，中学，高等学校になるとアニメ・漫画に加えて本が挙げられている。

Table 1. 興味を持った時期と項目

項目/時期	幼小	中高	大学(院)	社会人
アニメ・漫画	2	3	0	0
宇宙関連科学雑誌、図鑑	3	0	0	0
プラネタリウム	2	0	0	0
本	1	3	0	0
ハレー彗星、しし座流星群	1	1	0	0
「はやぶさ」	0	0	1	1

考 察

本研究では、宇宙に興味を持ったきっかけを「はやぶさ」「はやぶさ2」の関係者にアンケートを行い、どのような事象から影響を受けたかを調査した。さらに、自由記述にも回答を求めた。

結果より、宇宙に興味を持つにはアニメや漫画、本、次いで体験の影響が大きいことが示唆された。特に、アニメや漫画などは、回答者の年齢構成を考慮すれば、幼児期、児童期に視聴・購読していることが推察される。

今回は厳密な時期を特定させる手続きを取っていないため明言はできないが、自由記述に見られた言葉から質的な解釈をすると、宇宙に興味を持ちその道に進むためには、幼児期、児童期よりアニメ、図鑑、プラネタリウムなどで影響を受けること、青年期以降はさらに宇宙関連の本を読み、天文現象を実体験する、大学以降、具体的にその道に進むという傾向があることが推察された。

教材としてのアニメ キャリア初期におけるアニメなどの影響の大きさは近年の教育現場にもその兆しが見られる。文部科学省(2014)は、アニメーション映画「魔女の宅急便」とのタイアップ企画を通じてキャリア教育の普及啓発を行うことを決定している。「魔女の宅急便」を選定した理由としては、「主人公が様々な体験を通して様々な人々と出会い、その助力を得つつ、困難を乗り越えて大きく成長していく姿が描かれており、キャリア教育の普及啓発の趣旨にふさわしい内容である」としている。このように、アニメ等がキャリア教育の教材として公的に承認されてきているのである。

夢を見ること 諸富(2007)キャリア教育における「7つの力」の一つに「夢を見る力」を上げている。諸富は、アニメや冒険物語を読みふけることは現実逃避などという捉え方ではなく「制約を受けない時間の中で、子どもたちは夢見る力を育てていく」ものとして考え、大人は良い悪いの評価ではなく、夢見る体験を共有してもらいたいと述べている。本研究で示された項目は「夢を見る力」を醸成する意味でも、特に青年期までのキャリア形成の初期においては、大きく関与するものと考えられる。

本研究では、宇宙科学に携わる人を対象として、発達段階のそれぞれでどのような体験をすることが宇宙への道につながるかを考察した。結果から、従来キャリア初期において重要とされた興味に関連した影響因が、アニメなどで宇宙で活躍する登場人物との出会いや、図鑑や本を通して宇宙の知識に触れるという項目であることが確認された。さらに、その後、青年期には「はやぶさ」などの実際の宇宙活動を直接間接的に体験することによって、宇宙を夢見み、宇宙に係る仕事に就くという発達過程が推察された。本研究で明らかになったことは、今後宇宙に関連するキャリア教育に資するものであるといえよう。

なお、本研究の結果からは、出来事がどのように発展しキャリアが形成されたか、またその際の自己効力感との関係等は明らかにできていない。今後に残された課題である。

文 献

- 市川伸一 (2010) 学習動機の 2 要因モデル「学ぶ意欲の心理学」 PHP 新書 pp.46-61.
- Krumboltz, J.D. and Levin, A.S. (2004), *Luck is No Accident: Making the Most of Happenstance in Your Life and Career*, Impact Publishers. (花田光世・大木紀子・宮地夕紀子訳『その幸運は偶然ではないんです！ 夢の仕事をつかむ心の練習帳』ダイヤモンド社, 2005 年.)
- Krumboltz, J.D. (2009), “The Happenstance Learning Theory”, *Journal of Career Assessment*, Vol.17, pp.135-154.
- 文部科学省 (2014) キャリア教育 キャリア教育と映画「魔女の宅急便」とのタイアップ
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1344266.htm
- 諸富祥彦 (2007) 「7つの力」を育てるキャリア教育 図書文化社
- Persons, F. (1909), *Choosing a vocation*. Boston: Houghton Mifflin.
- Schein, E. H. (1978), *Career Dynamics*, Addison-Wesley Publishing Co., Reading, Massachusetts.
(二村敏子他訳 1992 キャリア・ダイナミクス 白桃書房)
- 武衛孝雄 (1969) 職業選択における形成要因の出現過程：児童期から青年後期までの縦断的発達研究, 島根女子短期大学紀要, 7, 19-31.

謝 辞

本研究は「はやぶさ」帰還 10 周年を記念したアンケートをまとめたものである。ご協力いただいた関係者の皆様に、ここに記して心より深く感謝申し上げます。

付録 自由記述

「宇宙戦艦ヤマト」

- ・子供のころ、夢中で見ていました。
- ・当時は家庭用ビデオがなかったので出かけていてもテレビの放映時間には必ず帰るようにしました。
- ・ビデオをレンタルして家族で見っていました。
- ・ワープ航法や波動砲をいつか実現してやろうと思ってました。エネルギー充填 120%って、オイオイ!
- ・エネルギー充電 120%は人生訓になりました。若いころに、実際に衛星用バッテリーを充電するようになって、「バッテリーってマージンまで充電すると 120%に届くんだ〜!」と感動しました。"

「銀河鉄道 999」

- ・小学校の出し物でメーテル役をやりました! 999 の機関室が好き♡
- ・鉄郎のような冒険がしくて学生時代にバックパッカーをやりました。

「機動戦士ガンダム」

- ・Z ガンダムが一番好きです。
- ・なんといってもファーストガンダムです。
- ・今でも見えています
- ・実は小惑星地球衝突問題を扱ったアニメ。v ガンダムがあれば小惑星の地球衝突を回避できる。
- ・初号機のカプセル回収の時にシドニーを経由しましたが、空を見上げてひとこと「大丈夫だ、空はまだ落ちてこない」と、独り言をつぶやきました。

「惑星探査機ボイジャー」

- ・深宇宙探査に興味を持つきっかけ
- ・木星や土星の写真に感激した

「アポロ計画」

- ・アポロ計画全般、人類月面到達
- ・11 号が自分の生まれた日に打ち上がったので影響大。"

「コスモス (カールセーガン)」

- ・私の人生を変え、この世界に入るきっかけを作った本です。
- ・相対論のくんだりでもむしろ物理よりの宇宙好きに。

「小惑星探査機はやぶさ(初号機)」

- ・はやぶさを見て、宇宙開発は宇宙関係の学科を出てないと無理という先入観が覆され、自分もやりたいと思い宇宙業界への転職を決意した
- ・タッチダウン時に公式やライターさんから出てくる情報を食い入るように見ました。非常に興奮しました。
- ・はやぶさの帰還に感銘を受けて、大学院の進学先を宇宙系に変更しました
- ・これがなければ、今の人生はないですね。

「2001 年宇宙の旅」

「科学雑誌 Newton」

- ・物心ついたときから、たくさんあった冊子をペラペラ見ていた.
- ・ロケットや探査機, 母宇宙子宇宙や地理断面のイメージ図など世界観が広がり歩みの速度も楽しんだ.

「ハレー彗星」

- ・宇宙に興味を持った. ハレー彗星を観測するために望遠鏡を買ってもらった.

「スペースシャトル」

- ・普通に宇宙に行ける時代が来たと思った

「しし座流星群」

- ・子供のころ見た.
- ・2001 年の大出現を見て宇宙への興味が再燃した.

「星の王子さま」

「天文博物館五島プラネタリウム」

- ・小さい頃よく通って宇宙好きになった

「謎の円盤 UFO」

- ・矢追純一の番組を毎週見ている, 空を見るようになった.

「パノラマ太陽系(NHK 番組)」

- ・番組進行は松井孝典先生, テーマ曲は八神純子さんの「Mr.ブルー」
- ・月～土曜日の内容がそれぞれ月, 火星...土星というのが斬新だった. 同名のブルーボックスもむさぼり読んだ(難しかったが).

「雑誌 天文ガイド」

- ・小学生の時に親に買ってもらった
- ・同上"

「バイキング1号, 2号」

「トップをねらえ!&トップをねらえ2!」

- ・はやぶさシリーズはこのアニメを具現化しているだけではないだろうか? 宇宙に行き, 難題を解決し, 地球にカプセル(<=ヤマトと違うところ)で帰還する. それを地上で待つ人々. 加えて論理を超えた努力と根性の重要性. ウラシマ効果, シュバルツシルト半径など随所に見られる物理用語も心をときめかせる. 松本零士, 富野由悠季, 庵野秀明が宇宙開発に与えた影響は大きい. 「オカエリナサ入(イ)」の意味が分かる人には分かる.

「星新一のショートショート」

- ・小学生の時に夢中になって読んでいました.

「学研・宇宙」

- ・小学生になるころに買ってもらった, 今も書棚に残る宝物

その他の項目

太陽系 (堀源一郎 著)
TBS 宇宙特派員計画
キャプテンフューチャー
宇宙家族ロビンソン
日本人宇宙飛行士
ライトスタッフ
惑星 (ホルスト)
近所にあったプラネタリウム
アポロ 13
タイムライフインターナショナル 人間と宇宙の話, 惑星の話
コホーテク彗星
Mars Exploration Rover
大阪万博 expo70
EDEN It's an Endless World!
ヘール・ボップ彗星
原子力ロケットの解説論文
ブルーボックス「マクスウェルの悪魔」
富士五湖でのキャンプで眺めた夜空
CUTE-I, XI-IV (CubeSat 物語)
王立宇宙軍 オネアミスの翼
宇宙兄弟
数式を使わない物理学入門
H. A. レイ 「星座を見つけよう」
The Martian, Interstellar, STAR WARS
Johnson Space Center, Space Camp

以上

研究報告

新型コロナウイルス感染症蔓延時の 「教育実習」と「介護等体験」の対応

有馬 比呂志[†]

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）は世界的規模で経済活動のみならず日常生活のあらゆる活動に影響を与えた。小学校から大学までの教育活動も多大な影響を受けてきた。例えば、遠隔授業やリモート授業などと呼称される授業形態では、実際の教室で行ういわゆる対面授業では可能な学習者の授業態度の把握などは難しい。双方向的な活動も容易ではないため旧来の講演形式の授業になりがちであった。しかしながら、オンデマンド型の授業で生徒・学生自身のペースで学修でき、教師への質問などがオンラインのチャットなどで心理的抵抗の少ない形で可能になる等肯定的な側面も新たに発見できた。

教職課程を有する大学においても、その学修において様々な制約を余儀なくされてきた。実際の授業を模した各教科の教育法の講義・演習などは、遠隔授業では大きな困難を有することになり十分な教育効果をあげることができなかつたのではないだろうか。特に、学外における学びの代表である「教育実習」と「介護等体験」は、いわゆる座学による学びだけでは、その学修目標到達の難易度はきわめて高い。換言すれば、教育現場での体験から得られる学びの所産は、机上では不可能であるということである。

しかしながら、コロナによる今世紀未曾有の教育環境の変化を教育関係者は様々に教育方略を工夫し凌いできたと考えられる。

コロナが蔓延しほとんどの義務教育現場での休校がなされていた令和2年度における「教育実習」と「介護等体験」については後述する代替措置を講ずるなど本来の実習等が困難な事態となっていた。

本稿では、近畿大学工学部（以下、本学）の「教育実習」と「介護等体験」で実施の方法変更が余儀なくされた事例への対応について検証しその教育効果について検討する。

1. 「教育実習」

教育実習生

令和2年度は、本学の教職課程の4年生19名が教育実習に参加した。彼らの3年次は21名であったが、電子機械工学科1名、機械工学科1名がそれぞれ辞退、および教育実習要件を満たさず教育実習が叶わなかった。

教育実習の代替措置についての初期対応

令和2年5月1日付で文部科学省からの「令和2年度における教育実習の実施期間の弾力化について」（通知）が届く。これによれば、例えば4週間の実習を2週間とすることが可能としている。例として、4単位の教育実習で1単位を30時間（大学設置基準等では、1

[†] 近畿大学工学部教育推進センター

単位は 45 時間の学修内容が必要とされている) とすると, 120 時間を 1 日当たり 8 時間として計算すれば 15 日間すなわち土日を除くと 3 週間に相当することになる. 2 週間の実習が可能であれば, 残り 1 週間分 (40 時間) を大学の授業で補填が可能であることが記載されていた.

この通知以降, 本学の実習予定校より 3 週間の教育実習のうちの 1 週間分を本学の授業に替えることが可能かどうかについて問い合わせを受けた.

表 1. 令和 2 年度教育実習における実習期間と補填措置

学生	免許	実習期間	補填期間	受け入れ校
A	工業	2		
*B	数学 (中)	3	1 週間	T 中学
C	数学 (中高)	3		
D	数学 (中高)	3		
E	技術・工業	3		
*F	技術・工業	3	1 週間	T 中学
G	理科 (高)	2		
H	理科 (中高)	3		
I	理科 (高)	2		
J	理科 (中高)	3		
*K	理科 (中)	3	1 週間	I 中学
L	理科 (中高)	3		
*M	理科 (高)	2	2 週間	H 中学
N	数学 (高)	3		
O	工業	2		
P	数学 (中高)	3		
Q	数学 (中高)	3		
R	数学 (中高)	3		
S	数学 (中高)	3		

注: *は代替措置が必要となった学生, 学生は学生番号順に掲載

検討委員会の設置と教育委員会への依頼

上記の状況を踏まえて, コロナの影響で教育実習予定校において実習が不可能になった場合, あるいは部分実施となり, その代替措置が必要になった場合を想定し, 教育実習の不足を補填する代替教育プログラムを, 事前検討するための委員会を本学教職課程運営委員会の委員を中心に小委員会を設置した.

本小委員会で協議の結果、教育実習の意義と目的に鑑みて、できうる限り大学における座学ではなく教育現場における実践的教育の場を提供することを優先して、以下の順で対応を協議し順位の高いものから実施していくことを決議した。

- ①実習校において実習期間の延期が可能かどうかの問合せと検討の依頼
- ②本学近隣の中学高校での実習
- ③近畿大学附属中学・高等学校での実習
- ④代替プログラムとしての教育（教職の授業における TA、教職授業の計画・作成など）

表 1 に示すように、令和 2（2020）年 7 月 17 日において、教育実習実施可の未定が 8 名、実習短縮が 2 名の計 10 名の学生に補填あるいは代替措置が必要となる可能性があった。同年 8 月 31 日時点では未定 8 名のなかで 1 名が中止、残り 1 名が短縮になり、結果として、4 名（21%）の学生に対して代替措置の検討が必要となった。

そこで、上述の②本学近隣の中学高校での実習について、本学の立地している東広島市の教育委員会に対して、教職課程運営委員長より依頼を行い、本学近隣の中学校を実習校として紹介いただいた。その結果、T 中学 1 名、I 中学 1 名、H 中学 2 名の計 4 名の学生の実習の補填が可能となり、教育現場における教育実習を完遂することができた。

考察

コロナの影響による教育実習の補填としての本学の取組は、上述のように約 21%と比較的少数の実習生が対象であったことに加え、代替措置としての座学等を行うことがなかった。そのため、この度の補填措置を否定的な教育効果として捉えるのではなく、教育現場の経験的学びをより増やすことになり肯定的効果をもたらしたと評価することも可能であるだろう。今後緊急な場合の対策に加えて、本来的な教育実習の在り方を再考するよい機会となったと考えられる。

2. 「介護等体験」

介護等体験は、授業ではないが、小学校・中学校の教員免許状を取得するために必要な学修である。文部科学省 HP によると次のように説明されている。

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成 9 年法律第 90 号）に基づき、特別支援学校や社会福祉施設（老人福祉施設、障害者支援施設等）において、7 日間障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行うことを、小学校・中学校教諭の普通免許状の授与の要件とするものです。

介護等体験のコロナ対策に関して、文部科学省より、「特例的に行う介護等体験代替措置等について」通知があり、代替措置が講じられることになった。

代替措置に関しては、教職課程運営委員会で議論をしたうえで、受入施設および社会福祉

協議会、広島県教育委員会への問い合わせたところ、次のような回答を得た。

介護等体験受入施設 A

「代替措置に関しては情報を受けてなかったが、利用者のご家族の入構も制限しているような状況であるため代替措置をお願いしたい。」

社会福祉協議会（社会福祉施設）

「代替措置で介護等体験を免除された場合でも、教育上の観点から来年度介護等体験を受け入れは可能か、との問い合わせに関しては、来年度受入施設の人数調整が可能であれば、実質的には受入可能である。」

広島県教育委員会（特別支援学校）

「代替措置で介護等体験を免除された場合でも、教育上の観点から来年度介護等体験を受け入れは可能かとの問い合わせについては、希望すれば制度上不可能ではないが、大学からの参加強制は受け入れ校の負担を考慮すれば控えてもらいたい。」

上記の回答を受け本学では、社会福祉施設（5日間）および特別支援学校（2日間）での体験を取り止め、文部科学省の代替措置を講じることとした。なお、学生には、8月25日に介護等体験説明会を臨時で行い周知をした。

代替措置は、特別支援教育総合研究所の印刷教材2科目（視覚障害児の教育課程及び指導法／聴覚障害児の教育課程及び指導法）のいずれか1科目を視聴しレポートを作成することとした。

9月5日に印刷教材視聴の案内を行い、11月30日までにレポートを提出させた。介護等体験の担当教員で12月7日までにレポートの内容を含め確認を行った。

なお、文部科学省HPのQ&A（大学等、代替措置を開設する者向け）の問25に以下の文言があった。

「レポートの評価や指導を行わなくてよいですか。」

答 レポートの確認は、1) 印刷教材の学修を経て自らが学んだことや考えたこと、2) その学修成果を教職に就くに当たってどのように生かしていくか、の各項目について、記述がなされているか確認することは必要ですが、評価や指導は必ず行わなければならないものではありません。

考察

本学においては、上記の回答に準じて学修の成果とそれらを教職に生かそうとしているかどうかを中心に教職担当教員で確認を行い、介護等体験の代替措置を修めたことを承認した。介護等体験参加予定であった学生のすべてが、代替措置のレポートを期限内に提出し、視聴した動画によって、支援を必要とする人の存在やその支援の在り方を深く学んだことを報告していた。今回、介護等体験で求められている体験的な学びは不可能となったが、代

替措置による新たな学びの機会を提供できたと考えられる。「新たな学び」をボランティア活動や日常生活のあらゆる場面で、人々に対する尊厳や社会連携の認識につながる事が期待される。

まとめ

コロナ禍において授業等の代替措置は否定的効果をもたらすと考えがちである。上述したように机上だけでは理解しがたい教育内容が存在する。しかしながら、今回は代替プログラムなどの現場を離れた対応を採ることを回避でき、当初の実習校以外の学校において実習が可能になった。そのため本学の「教育実習」に関しては、代替措置を行った実習生は寧ろ多様な学びができたという肯定的な教育効果が見られた。

「介護等体験」については、代替的学びでは、実際に人と触れ合い対面してこそその学びは難しかったと思われる。介護等体験の目的の一つは、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例法に関する法律（介護等体験特例法）」（文部科学省、2011）にもあるように個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めることであり、そのために体験的学習を求められている。しかしながら、本学では普段学ぶことの機会が限られている特別支援に関して非体験的な個人学習ではあったけれども、各学生の真摯な学びによって深く学ぶ機会が与えられることになったと考えられる。今後の課題として、代替措置では不可能であった体験的な学びを「教職実践演習」などの授業の中で補填できるよう検討を行なう必要があるだろう。

今後、「教育実習」や「介護等体験」において、実習校や社会福祉施設ごとの感染症対策や学生の受け入れ基準などを検討する必要があるだろう。従来のような実習等が再開されたとしても、新たな感染症出現も念頭に置き、リスクマネジメントの側面からだけでなくこの度の代替措置で実施された実習校の変更、さらに、実施はされなかったが検討された代替プログラムも考慮に入れて教職教育の質を高めていくことが重要である。

引用文献

文部科学省（2021）令和2年度及び令和3年度に限り特例的に行う介護等体験代替措置等について（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/mext_00836.html）

文部科学省（2011）平成9年介護等体験特例法の概要（小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律）

（https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/attach/1314079.htm）

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う 教職科目の対応の記録

小川 智弘[†], 佐々木 良勝[†]

令和2年度の近畿大学工学部（以下、本学）の教職課程の授業のうち著者らの担当するいくつかの科目について、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）のために、従来の実施方法の変更を余儀なくされた事例を報告する。時の移ろいとともに入の記憶は曖昧になっていくが、記録に留めておくことで、今後同様の事態が生じた際の参考^に供したい。

1. 工学部の対応 コロナの拡散に伴い、令和2年3月21日付で、前期授業開始が4月20日（月）に延期されることが本学ホームページで告知された。その後、前期授業は盆休みまでは全てオンラインで行われることとなり、最終的には授業開始は5月11日（月）まで延期された。この間に急遽、ZoomとGoogle Classroomを用いた授業について教員らに使用法の説明と指導が行われた。また、6限を駆使して8月7日（金）までに15回の授業を終えられ、盆明けに実験・実習等の対面授業の日程を設定した学年暦が組まれた。前期定期試験は行えなくなった。

後期は対面授業が再開されたものの、週1~2日程度をメディア授業曜日とすることとなった。工学部6学科のメディア授業曜日は下記の通りである

化学生命工学科	火曜日
機械工学科	火曜日・木曜日
情報学科	木曜日
建築学科	火曜日・木曜日・金曜日 ※金曜日は2・3年生のみ
電子情報工学科	木曜日
ロボティクス学科	火曜日・木曜日

令和3年1月16日（土）・17日（日）に実施される大学入学共通テストへの影響が生じないよう、1月11日（月、祝）の成人の日の翌日から共通テスト前日までが休講日とされたが、1月7日（木）に緊急事態宣言が発出されたため、学内入構制限がかけられ、1月18日（月）からの年明けの授業はオンラインで行われた。後期定期試験は行えなくなった。

2. 「理科教育法 I,II,IIIA,IIIB」

小川は教職課程2年次の「理科教育法 I」（前期）、「理科教育法 II」（後期）および3年次の「理科教育法 IIIA」（前期）、「理科教育法 IIIB」を担当している。

令和2年度前期 次のように授業を実施した

「理科教育法 I」 ……15回全ての授業をZoomで行った。内容は、理科教育史、及び学

[†]近畿大学工学部教育推進センター

習指導要領, 教材研究, 指導技術についての解説を教科書とパワーポイント(以下, パワポ)を用いて実施した。

「理科教育法 IIIA」…学生による模擬授業が主であるため, 対面による授業実施が望ましいと判断し, 前期不開講とし, 後期に行うこととした。

令和 2 年度後期 次のように授業を実施した

「理科教育法 II」…15 回全ての授業を対面で行った。

「理科教育法 IIIA」…第 9 回までの授業を対面で行った。それ以降の 6 回の授業は Zoom で, 学生によるパワポを用いたオンライン模擬授業とした。Zoom によるオンライン模擬授業は, コロナの終息の目処が立たず, 今後のオンライン授業への変更に対応できるように導入することとした。また, Zoom によるオンライン模擬授業では, 写真や動画, アプリケーションを活用するなど ICT 機器を使った指導技術の向上にも繋がった。

「理科教育法 IIIB」…第 12 回までの授業を対面で行った。第 13 回以降の授業は, 緊急事態宣言の発令に伴う突然のオンライン授業へ変更となったが, 学生は, 事前に Zoom によるオンライン模擬授業を経験していたため, 問題なく実施することができた。

コロナ禍における授業対応は令和 2 年度前期, Zoom 及び Google Classroom の導入に伴い一部混乱したが, 後期に入ると学生はオンラインによる講義にも慣れ, 突然のオンライン授業への変更にも対応できていた。

3. 「数学科教育法 IIIA,IIIB」および「代数学 I,II」

佐々木は教職課程 3 年次の「数学科教育法 IIIA」(前期), 「数学科教育法 IIIB」(後期) および「代数学 I」(前期), 「代数学 II」(後期) を担当している。本来ならば時間割上は

前期: 月曜 5 限「代数学 I」, 火曜 5 限「数学科教育法 IIIA」

後期: 月曜 5 限「代数学 II」, 火曜 5 限「数学科教育法 IIIB」

であった。このうち, 「代数学 I」は反転授業形式でいわゆるソクラテスの問答法により論理を徹底指導する科目であり, また「数学科教育法 IIIA」はほぼ半分をプレゼンテーションや模擬授業が占め, 「数学科教育法 IIIB」はほとんどを模擬授業で構成する授業であって, いずれもオンラインでの実施が困難である。そこでまずは, どうしても授業を対面で実施せざるを得ないコマとオンライン実施可能なコマに仕分け,

前期「数学科教育法 IIIA」の終盤 5 回と「代数学 I」15 回

後期「数学科教育法 IIIB」の第 2~13 回

を対面で実施することに決めた。そして, 時間割を

前期: 月曜 5 限「代数学 II」, 火曜 5 限「数学科教育法 IIIA」

後期: 月曜 5 限「代数学 I」, 金曜 5 限「数学科教育法 IIIB」

と組み替えた。なおその際, 西條 潤 准教授の後期金曜 5 限「人権教育論」と佐々木担当の後期火曜 5 限「数学科教育法 IIIB」のコマ交換を行った。さらに, 実際には下記のように実

施した。なお、本学では数学の教員免許は電子情報工学科とロボティクス学科の2学科で取得することができるが、オンライン授業曜日が学科ごとに異なり、日程調整が困難を極めた。4週連続で1日3コマ実施などの集中講義に近い開講態様となったのはこの困難のためである。

令和2年度前期

「数学科教育法 IIIA」・・・科目全体の構成は

- ・序盤7回は『学習指導要領解説 数学編』を読み込む座学,
- ・中盤3回は『解説 数学編』の各学年の内容を学生が説明する反転授業,
- ・終盤5回が模擬授業,

である。序盤と中盤の10回をZoomで、5月12日(火)～7月14日(火)の10週で5限に行い、終盤の模擬授業だけはオンラインでは実施が困難なので、夏休み明けの9月5日(土)に5コマまとめて実施した。

「代数学 II」・・・後期月曜5限から前期月曜5限に変更し、15回全ての授業をZoomで実施した。「数学科教育法 IIIA」の火曜5限授業が終了した7月20日(月)、21日(火)および7月27日(月)、28日(火)は月曜5限と火曜5限の週2コマで実施して8月3日(月)までに15回の授業を実施し終えた。

令和2年度後期

「数学科教育法 IIIB」・・・ほぼ模擬授業で構成され、オンラインでの実施は困難なので、9月14日(月)に初回授業で模擬授業の担当学年・領域を割り振った後、9月21日(月)から10月12日(月)まで4週連続で月曜1, 4, 5限の1日3コマ実施した。第14回はオンライン模擬授業とし10月15日(木)のオンライン授業曜日に実施。第15回の公開研究授業の参観報告(初回にレポート課題として告知)は参観機会を確保した上で11月30日(月)4限に実施した。なお、令和2年度は公開研究授業自体をオンラインで行うこととした中学校等もあり、実際に履修者4名のうち2名は竹原市立吉名学園(義務教育学校)が実施したオンライン公開研究授業のレポートをしてくれた。一方でもう2名は大野中学校・野坂中学校の現地訪問形式の公開研究授業の参観を詳細にレポートしてくれた。多くの学校が公開授業を中止したり、保護者のみに限定して公開することとしたため、校外の者が参観できるものは少なくなってしまうが、履修学生が参加できる公開研究授業の情報を授業の際に十分周知するよう努めた。

「代数学 I」・・・時間割上は前期月曜5限から後期金曜5限に変更した。反転授業形式で、板書も交えた即興的な議論により論理を徹底的に鍛えるためオンライン実施は不可能であった。このため、完全オンライン授業となってしまった前期から後期に開講期を変更した。教育実習参加者の欠席が少なく済むように考慮し、実際には次のように実施した。即ち、10月19, 26日(月)は月曜5限、11月6, 13, 20日(金)は金曜5限でここまで週1コマ実施。11月30日(月)以降は月曜5限と金曜5限の週2コマを12月25日(金)まで4週にわたって実施。年明け1月18日(月)、25日(金)の2回を合わせ、全15回を実施し終え

た.

結語 未曾有のパンデミックに直面したが、近畿大学の組織力と、対面授業できる機会を有効活用する工夫でどうにか乗り越えた。この経験の記録を今後に活かしてもらいたい。

体験記

合格体験記

工学部 ロボティクス学科
氏名 月森 貴裕

【合格した自治体（校種・教科）】

広島県（中学校・数学）

① いつから勉強した？また、どんな勉強から始めた？

3年生の冬から勉強を始めました。
基本問題を確認し、過去問を進めました。

② あなたのオススメの教材は？

オススメは特にはないですが、広島の過去問が多いものを利用すると思います。

③ とっておきの勉強法は？また、1日に何時間勉強していた？

勉強をする環境を変えるようにしていました。家や研究室、カフェなどを自分の気分で決めて勉強していました。長い時間勉強が続かないので平均すると約3時間ほどだと思います。

④ 息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

気持ち的に勉強できない日は諦めて遊ぶようにしていました。

⑤ どの自治体を受験した？

広島県のみ

⑥ ⑤を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記(専門含む)をどのように対策していた？

面接で聞かれることはある程度分かるのでその準備をしていました。

⑦ 授業(ゼミも含む)や就活、教員採用試験の兼ね合いは？

ゼミを勉強より優先して、空いた時間で教採の勉強を行いました。
就活は行っておりません。

⑧ アルバイトやボランティアはどうしていた？

アルバイトは塾講師を4年生の春まで行い、ボランティアは3年生の冬まで行いました。

⑨ 大学生活の中でやっておいた方がいいことは？

大学生は、自由な時間が多くあるので興味をもったことに積極的に参加してみることだと思います。実際、僕も1年生の時に地元の消防団に興味をもち、現在も所属しております。このような経験は面接の際に話すことができる武器になると思うので、様々なことを経験して話のネタを作るといいと思います。

⑩ 教職ラボの活用法は？

模擬授業や面接練習を行うといいと思います。

⑪ 夢に突き進んでいく後輩たちへメッセージ！！

僕は頑張れば夢は叶うとは思いませんが、頑張らなければ夢は夢のままだと思います。今の頑張りが未来をつくと信じて突き進んでください！

教育実習を終えて

岡 雅

(化学生命工学科4年)

私は教育実習を通じて、教師としての使命感の重要性を改めて学ぶことができました。多くのことを学んだ実習で印象に残ったことについて記します。

私が実習を行った高校は総合学科ということもあり、授業数がかなり多く、現場の先生も多忙であるため、授業を実施するだけで相当の時間と労力を要します。また、実際に授業実習をする際も準備等でかなりの時間を必要とするため、生徒となかなか関わる機会がありませんでした。そこで、わたしは生徒指導の先生にお願いして、朝の登校指導に参加させていただきました。校門の前に立ち、登校してくる生徒に元気よく笑顔で「おはよう！」と挨拶しました。ここで、ただ挨拶をするのではなく、生徒の顔を見て「体調悪くないかな？」や「いつもと様子が変わらないかな？」といったことも見ながら指導を行いました。他にも、清掃時や放課後など少しの時間でも生徒と会話し、朝礼や終礼をさせてもらうなど、これらを通して授業では見ることができない生徒の一面を知ることができました。教育実習という、授業をするということに目が行きがちですが、生徒との信頼関係を築くことも重要です。授業実習では、1年生から3年生、文理問わず様々な生徒を相手に授業をさせて頂きました。しかし、作成した指導案通りに授業ができたことは1回しかありませんでした。

授業では生徒の理解度を見ながら、慎重に進めていく必要性があります。私が授業をする予定のクラスは授業の見学、観察を何度もこなし、実際に授業をする際にはどのようにしてすべきか何度も何度も考え、授業をつくりましたがうまくいかず、自己嫌悪に陥っていました。改めて授業における柔軟な対応力や判断力が必要であると痛感しました。そして、指導教員の先生を含め多くの先生方から良かった点、改善点のご指導をしていただきました。その中でも特に印象に残っているのは、研究授業後に、「これから絶対にもっと上手くなる授業だったよ」というアドバイスです。大変だった実習を終え、生徒からも「わかりやすかった！」と言ってもらい嬉しく、職員室で涙が止まりませんでした。

2週間という短い期間でしたが、多くのことを経験し、大学の授業では学べないことを学び取れた一生の宝となる実習になりました。この経験を活かし進学しても、教員を目指すうえで、生徒理解や授業づくりなどを改めて研鑽し、今後に向けて努力をしていきたいです。

教育実習での学びと反省

下森 萌

(電子情報工学科 4 年)

母校である高等学校で 3 週間の実習をさせていただいた。そこでは、授業の方法はもちろん、生徒との関わり方や実際の教員の業務について学ぶことができた。

私は最初の 2 週間は、いろいろな先生方の授業を参観させていただいた。その中でも、指導教員の先生の授業はすべて参観させていただいたため、単元の大きい流れを見ることができた。その授業は、新しく指導する内容も以前の内容と関連付けてあり、生徒にとって抵抗感なく学習できるように感じた。また、同じ内容であっても基礎クラスや発展クラスなど生徒の習熟度や雰囲気によって異なるアプローチで授業を進められており、毎時間、より良い授業にするための工夫が見られた。授業実習は、同じクラスで行うため、クラスごとに何に時間をかけていて、どこに違いがあるのかを注意深く観察した。

この 2 週間の授業参観中に、生徒へ関わることも許されていたため、演習のサポートを通して生徒とのコミュニケーションを図ることができ、生徒に「この人も先生なんだ。」というイメージがついたことはその後の授業実習に大きく影響したと考えている。

授業参観の時間以外にも生徒と関わる機会を多く設けていただいた。おかげで、教員志望の生徒をはじめとする進路についての個人相談を数名と行うことができた。同席していた指導教員の先生の言葉は、自分の言葉にはない重みや客観性があり、自分の未熟さを感じるとともにとても勉強になった。また、HR の生徒とは、帰りの SHR や HR 日誌で交流していたが、休憩時間や掃除時間など、もう少し生徒と近い目線で関わることもできたのではないかと感じている。

授業実習では、生徒たちが前向きに聞いてくれていたため、円滑に進めることができた。しかし、生徒が話を聞いているからこそ、授業者次第で大きく変わってしまうように感じた。授業後、自分の授業のビデオを見ると、授業中には感じ取ることのできなかつた反省点が多く見つけた。その中でも特に指摘を受けたのが板書である。単純にきれいか汚いかではなく、「生徒にとって見やすいか」であった。授業において、教員が余分な情報を与えてしまうと、その情報が気になって、本来伝えたいことがおろそかになってしまうからである。そのため、板書は重要なところに自然と目がいくものでないといけない。生徒目線で見たときをイメージし、より見やすい板書を心がけたい。

この実習で、今まで以上に自分の課題が鮮明になったと感じた。教員の仕事を間近で拝見し、一部を体験したことで、自分はどのようにしてこの行動ができなかつたのか、どうすべきだったのかを考えることができた。教科の知識も未熟であることはもちろん、人として成長しなければならないことを痛感したので、今後は少しずつ自分を高める努力をしていきたい。

教育実習で得たことと今後の展望

清藤 亮太

(ロボティクス学科4年)

コロナによる実習生受け入れが難しいなか、私は母校で3週間の実習を行うことができた。母校で実習を行うことで、私が在学していた頃との違いを自身の目で見ることでできた。それにより、現在の学校教育における問題点について学んだ。また、私の教育における、強みと弱みを知ることができ、今後の展望を見出すことができた。

学校教育における問題点は、不登校の生徒数の増加である。その原因は、情報化社会が進み、SNS といった教師の目が行き届きにくい場所で、問題が発生していることであると考えられる。そのため、その問題への対処が遅れ、有効な指導を行うことが困難であるからである。こういった問題へ対処することができる教師が今後必要とされていることが分かった。また、時代とともに生徒の抱える問題が変化することを知った。

私の強みは、工学部に在学しており、数学と工学の2つの学問を学んでいるということだ。それにより、数学が工学という「ものづくり」の分野でどのように活用されているのか経験しており、知っていることを活かして、従来とは異なる数学指導を行うことができることだ。数学という学問は、世の中で実際に活用されているのかが分かりにくいと考える。そのため、数学への関心・意欲が低い生徒が多い。そこで、授業の導入時において、実際の事例やその内容の学ぶことへの重要性を伝え、生徒を惹きつけるような導入を行うことができる。さらに、コミュニケーション能力が高く、授業を円滑に進めることができることだ。

しかし、私の弱みは、学校教育の知識と数学の知識不足である。実際、授業の展開、まとめ時において、生徒の気づきをもとに授業を展開し、まとめを行わなければならないのだが、その気づきが正しいのかどうか知識不足により、判断することができず、間違えたことを指導してしまった。また、教材研究において、指導内容の意義、本質を捉えた授業開発を行うことができていなかった。さらに、授業の主眼を達成するための有効な手立てを見出す際に、知っている手立ての数が少なく、様々な授業案を考えることができず、有効な手立てを見出すことが困難であることだ。

今後、現在の学校教育における問題点に対処できるような教師になるためには、情報教育に対する知識の深化が必要であると考えられる。また、学校教育における基礎的な知識を身に付ける必要がある。さらに、数学への専門知識を総合的に深める必要もある。そのために、私は大学院へ進学し、生徒の課題、問題に対して、効果的な指導を行えるような、実践能力を身に付けたいと考える。また、数学の専門知識を十分に身に付け、主眼達成のための手立てへの知識を身に付け、私の強みを活かした効果的な数学指導を行えるような実践能力を研究し、修養したいと考える。

資料

令和2年度 教職課程行事報告

【学内説明会】

日時	時間	場所	対象	項目	内容
4月1日(水)	①11:00～12:00 ②15:00～16:00	近畿大学工学部 C305	1年	教職課程説明会	教職課程について
4月13日(月)～	—	—	2～4年	教職課程説明会	教職課程について ※学内入構禁止により 動画配信
5月27日(水)	12:30～13:00	—	3年	令和3年度教育 実習説明会	教育実習実施までの手 続き、教育実習申込みと 内諾について ※Zoomにて実施
5月27日(水)	13:00～13:10	—	介護等体験 希望3年	令和2年度介護 等体験説明会	介護等体験の参加につ いて ※Zoomにて開催
7月10日(金)	12:20～13:00	—	4年	令和2年度教育 実習事前説明会	教育実習における注意 事項
7月13日(月)	12:20～13:00	—	介護等体験 希望3年	令和2年度介護 等体験事前説明 会	体験における注意事項 ※Zoomにて開催
8月25日(火) 9月10日(木)	12:20～12:40	—	介護等体験 希望3年	令和2年度介護 等体験臨時説明 会	介護等体験の代替措置 について ※Zoomにて開催
10月13日(火)	12:20～13:00	—	4年	教育職員免許状 申請手続き説明 会	免許状授与申請につい て ※Zoomにて開催
12月19日(土)	9:00～12:10	近畿大学工学部 C209	3・4年	教育実習報告会	令和2年度教育実習報 告
12月11日(金)	12:10～13:00	—	2年	令和3年度介護 等体験説明会	介護等体験の説明と申 込について ※Zoomにて開催

【学外での活動】

日時	場所	内容	
4月10日(金)	広島県社会福祉会館	介護等体験関係大学 連絡会議	令和元年度社会福祉施設に おける介護等体験の日程調整
8月下旬～11月下旬		教育実習	コロナ禍のため教育実習現場指 導実施なし

【教職課程運営委員会】

日時	内容
5月18日(月)	教育実習について・介護等体験について
6月1日(月)	介護等体験参加者の調整について
8月21日(金)	介護等体験代替措置への対応について・教育実習について
1月14日(水)	令和3年度教育実習参加者について・令和3年度教職課程変更届について 教職課程シラバス点検・監査小委員会委員について
3月10日(水)	令和3年度教職課程スケジュールについて・令和3年度教育実習参加者について 年報について

令和 2 年度 教職課程受講者数

(単位：人)

学科	学年		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
化学生命工学科		実人数	13	7	8	7	35
	内 訳	理科(中)	7	6	6	4	23
		理科(高)	9	7	7	6	29
		工業	0	0	0	0	0
機械工学科		実人数	1	3	3	2	9
	内 訳	技術	0	3	0	2	5
		工業	1	3	3	2	9
情報学科		実人数	1	2	0	0	3
	内 訳	技術	0	0	0	0	0
		情報	1	2	0	0	3
建築学科		実人数	2	1	3	1	7
	内 訳	技術	0	1	0	0	1
		工業	2	1	3	1	7
電子情報工学科		実人数	10	4	4	3	21
	内 訳	数学(中)	8	3	3	3	17
		数学(高)	8	1	3	2	14
		技術	0	0	1	0	1
		情報	2	1	0	0	3
ロボティクス学科		実人数	11	6	4	6	27
	内 訳	数学(中)	7	3	3	4	17
		数学(高)	8	4	2	5	19
		技術	0	3	1	0	4
		工業	1	2	0	1	4
合計	実人数	38	23	22	19	102	

令和2年度 教育実習・介護等体験参加者数

【介護等体験】

特別支援教育総合研究所の印刷教材2科目（視覚障害児の教育課程及び指導法／聴覚障害児の教育課程及び指導法）を受講する代替え措置にて実施

(単位：人)

学科	聴覚障害児の教育課程と指導法	視覚障害児の教育課程と指導法	合計
化学生命工学科	5	4	9
機械工学科	0	0	0
情報学科	0	0	0
建築学科	0	0	0
電子情報工学科	2	2	4
ロボティクス学科	0	2	2
合計	7	8	15

【教育実習】

(単位：人)

学科	中学校	高等学校	中高一貫校	計
化学生命工学科	4	2	1	7
機械工学科	1	1	0	2
情報学科	0	0	0	0
建築学科	1	0	0	1
電子情報工学科	3	0	0	3
ロボティクス学科	3	2	1	6
合計	12	5	2	19

令和2年度 免許取得者数・教員就職者数

【一括申請による教員免許状取得状況】

(数字は取得人数)

教科・種類		学科						合計
		化学生命工 学科	機械工学科	情報学科	建築学科	電子情報工 学科	ロボティクス 学科	
数学	中学	0	0	0	0	3	4	7
	高校	0	0	0	0	2	4	6
理科	中学	4	0	0	0	0	0	4
	高校	7	0	0	0	0	0	7
技術	中学	0	2	0	0	0	0	2
情報	高校	0	0	0	0	0	0	0
工業	高校	0	2	0	1	0	0	3
合計	中学	4	2	0	0	3	4	13
	高校	7	2	0	1	2	4	16

【教員採用試験合格者・教員就職者数】

(既卒者は含まない)

教科・種類		学科	学科						合計
			化学生命工 工学科	機械工学科	情報学科	建築学科	電子情報工 工学科	ロボティクス 学科	
数学	中学	教採合格	0	0	0	0	0	1	1
		教員就職	0	0	0	0	1	1	2
	高校	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	0	0	0	0	0	1	1
理科	中学	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	0	0	0	0	0	0	0
	高校	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	1	0	0	0	0	0	1
技術	中学	教採合格	0	1	0	0	0	0	1
		教員就職	0	1	0	0	0	0	1
情報	高校	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	0	0	0	0	0	0	0
工業	高校	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	0	0	0	0	0	0	0
	中学	教採合格	0	1	0	0	0	1	2
		教員就職	0	1	0	0	1	1	3
	高校	教採合格	0	0	0	0	0	0	0
		教員就職	1	0	0	0	0	1	2

お知らせ

教職ラボ同好会

→教員を志す近畿大学工学部学生のサークル

活動風景

人前に立つのは苦手…。
でも、はきはき喋れるようになりたい



入会動機は
人それぞれ！

興味はあるけど…。
よくわからないなあ



3年次には近畿大学本部との連携による
教職合宿に参加することも！

活動内容

- ・朗読リレー
- ・自己分析
- ・板書練習
- ・問題解説
- ・模擬授業
- ・教採対策演習
- ・OB講演会
- ・面接練習
- ・議論

それぞれの
強みを伸ばし、
弱点は克服
できるよう
自分たちで考案！

etc…

2021 年度活動日

火曜日 18:10-19:40 土曜日 10:00-12:00

※感染症対策のため Zoom での活動も実施します

連絡先：kyoushokulabo.kindai@gmail.com ロボティクス学科 3年 安田 まで！

令和4年3月28日 発行

近畿大学工学部教職課程年報 Vol.8

編集兼発行者 近 畿 大 学 工 学 部

〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番

電話 (082)434-7006

Published by: Faculty of Engineering,
Kindai University

Address: 1 Takayaumenobe, Higashihiroshima
Hiroshima 739-2116, Japan
Tel. (082)434-7006

8 Annual Report

2021 Vol.8

CONTENTS

■ Articles	3
■ Research Reports	15
■ Notes of the practical experience	27
■ Reports	39
■ Information	45

The Teacher Training Course
in Faculty of Engineering, Kindai University